TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	舞台技術		担 当 者 名	山本 あいり、清水 佳代子	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	仕事として、現場に出た際困らないように基本的な知識をなるべく多く学生に伝えていく				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	仕事として現場に出る際、舞台技術で学んだ知識はすぐに役立つと考える。専門用語や特殊な場所の名前等ある中で戸惑いを少しでもなくし、実践につなげられる人材になるよう、様々な知識、経験上の話などを伝えていく。				
授業概要	舞台(イベント)に関わる仕事をするにあたり、大切で最も基本的な「挨拶をきちんとする」をはじめ、舞台用語、場所・機構の名前、それぞれの役割を理解する。舞台の世界では未だ使われている「尺貫法」を理解する。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	シミズオクト業務内容及び講師経歴	19	コンサートでの施工基礎
	2	イベントの歴史	20	吊りもの基礎
	3	イベントで使う用語	21	コンサートの舞台機構
	4	イベントで使う道具・部材	22	コンサートの舞台機構
	5	イベントスタッフのマイルストーン	23	演出ミニ体験・演出機材体験(学校もしくは千葉スタジオ)
	6	(課外授業)新木場スタジオ視察・懇親会	24	テスト
	7	イベントのサイン	25	課外授業 コンサート現場視察
	8	イベントで使われる幕	26	まとめ
	9	イベントで使われる大工	27	基礎
	10	会場の種類	28	基礎
	11	テスト	29	基礎
	12	コンサートツアーとは	30	応用
	13	コンサートデザイン	31	応用
	14	図面の読みかた	32	応用
	15	プロダクション・ミーティング	33	応用
	16	業種別タイムテーブルの考え方基礎	34	総評
	17	コンサートでの舞台総論	35	次年度に向けて
	18	コンサートでの施工基礎	36	まとめ

成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	50%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%			
講師プロフィール	舞台施工・機構を主に日本一の大手企業 シミズオクト。 舞台の基礎から機構全般、会場やコンサートの仕組みまでを教えてくれる。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	制作実習		担 当 者 名	後藤 美羽		
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	108時間	
授業目的	イベント企画を通じて 自分から進んで動いていける能力、コミュニケーション力を養う					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	他者との関わり方を考え、企画立案を通して積極的に行動できる人材育成					
授業概要	各イベントに対応した目的に沿って企画立案、制作についてグループワークを行う					

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション①	19	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画打ち合わせ①
	2	イベントスケジュール確認、役割確認	20	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画打ち合わせ②
	3	話し合いの進め方について	21	TECHNOS祭 学科企画・模擬店企画準備
	4	学内イベント企画①	22	学内向けクリスマスパーティー企画立案①
	5	学内イベント企画②	23	学内向けクリスマスパーティー企画立案②
	6	学内イベント企画準備①	24	学内向けクリスマスパーティー企画準備
	7	学内イベント企画準備②	25	学内向けクリスマスパーティーリハーサル
	8	学内イベント企画リハーサル	26	学内向けクリスマスパーティー本番
	9	学内イベント企画 本番	27	学内向けクリスマスパーティーを振り返って
	10	学内イベント企画を振り返って	28	TECHNOS展学科企画①
	11	夏休みのスケジュール作成①	29	TECHNOS展学科企画②
	12	夏休みのスケジュール作成②	30	TECHNOS展学科企画③
	13	AtoZを使用したイベント企画①	31	まとめ①
	14	AtoZを使用したイベント企画②	32	まとめ②
	15	AtoZを使用したイベント企画③	33	年間総評
	16	AtoZを使用したイベント企画④	34	
	17	AtoZを使用したイベント企画リハーサル	35	
	18	AtoZを使用したイベント企画本番	36	

成績割合			学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	テスト	20%		
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	50%	成績評価	授業全体を100%として出席率・意欲・柔軟性・協調性それぞれを換算し合計点数で成績評価を行う、
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	ライブカフェ店長として音響、照明など運営に関わる総合的業務を行う。さまざまなライブハウスで音響スタッフ、制作スタッフとして参加。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	音響技術 I		担 当 者 名	山下 修平	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	音響の基本であるアナログ現象の理解とデジタル化の理解を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	アナログをデジタル化するプロセスを学び、目的・用途による実際を知る				
授業概要	デジタル化の誕生からの進展と今後のあり方を考え音響分野における様々な方式を学び理解する				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	音の三属性および条件	19	パルス符号変調の仕組み
	2	周波数・波長・周期の関係性	20	音声におけるデジタル情報処理技術①
	3	聴覚器官の構造	21	音声におけるデジタル情報処理技術②
	4	波の伝達、平面波・球面波について	22	音声におけるデジタル情報処理技術③
	5	位相とバランス伝送の仕組み	23	固体メディアによるデジタル記録①
	6	電気について(基礎)	24	固体メディアによるデジタル記録②
	7	電気について(直流・交流)	25	音声圧縮技術①
	8	レコーディングに使用される機材について①	26	音声圧縮技術②
	9	レコーディングに使用される機材について②	27	音声圧縮技術③
	10	レコーディングに使用される機材について③	28	dBの基礎①
	11	マイクロフォンの構造と仕組み①	29	dBの基礎②
	12	マイクロフォンの構造と仕組み②	30	アナログ分野でのdBについて
	13	前期期末試験対策	31	デジタル分野でのdBについて
	14	前期期末試験	32	ダイナミックレンジとSN
	15	講評	33	現在の音響規格について
	16	アナログとデジタルについて	34	試験対策授業
	17	二進数・十六進数	35	後期試験
	18	変調技術と応用	36	後期試験の講評

成績割合			学習FB方法	前期・後期 成績表添付
	テスト	80%		
	学習態度・出席率	20%		
	レポート		成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%
講師プロフィール	PAエンジニアやメンテナンスエンジニアを中心に活動

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	照明技術Ⅰ		担 当 者 名	柳戸 勲、石毛 昌友	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	舞台スタッフとしての心構え、知識、人間性、総合力の確立を目指す。また舞台照明における基礎的な知識を身に着ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	業界・ステージ・スタジオ・イベント等における照明の理論、基礎知識を学び、照明に対する興味を深め自覚を促進する。				
授業概要	「学び」「考え」「行動」を最下のテーマとしてとらえ、照明における知識、技術、応用、構成力、デザイン等を学びチームワークの必要性を理解し習得する				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	自己紹介・照明とは・光の作用・光の三原色	19	ホールスタッフ、カンパニースタッフ
	2	灯体の構造、アクセサリー、フィルター	20	劇場の歴史、上演芸術
	3	回路、コンモ、ケーブル、コネクター	21	屋外、仮設イベントのシステム②
	4	劇場構造、幕類、吊物、床面	22	映像照明とは①
	5	方向の明かり、サス、バック、斜め、略字	23	映像照明とは②
	6	フロア周り、サスペンション、ホールの設備、立ち上げ、降ろし	24	機材の種類と説明①
	7	長さの単位、平台、箱馬、人形等、(尺、寸)	25	機材の種類と説明②
	8	電気工学・オームの法則、電力計算	26	撮影方法①
	9	照明光学、光について、光の単位	27	撮影方法②
	10	安全対策について(重点的に)	28	撮影方法③
	11	事故防止について(重点的に)	29	ロケと言われる外での撮影方法①
	12	舞台照明の心構えについて	30	ロケと言われる外での撮影方法②
	13	コンサート照明と演劇・バレエについて　屋外イベント、仮設システム①	31	まとめ
	14	エフェクト、特殊効果について屋外イベント、仮設システム①	32	
	15	用語解説①	33	
	16	傾向と対策	34	
	17	講評	35	
	18	役割について(デザイナー、オペレーター)	36	

成績割合			学習FB方法	成績表送付
	テスト	80%		
	学習態度・出席率	20%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 100~90点　A 89~80点　B 79~70点　C 69~60点　D 59点以下 (不可)
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫10%　R≪実働実践型学習≫20%　A≪主体的参加型学習≫60%　G≪海外体感型学習≫10%
講師プロフィール	舞台を中心(バレエ・オペラ・芝居・語り・シャンソン等)の照明デザイン・技術操作を担当。経験を基に広くスタッフの養成への授業を展開する。 映像を中心に照明オペレーターを務める。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	コミュニケーション英会話 I		担 当 者 名	Jina McCullough	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	This class is about learning basic grammar and vocabulary used in conversational English, starting at the beginner level. このクラスは、英会話で使用される基本的な文法と語彙を初級レベルから学びます。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Students will be able to communicate in English conversations about various commonly discussed topics. 学生は、よく議論されるさまざまなトピックについて英会話でコミュニケーションできるようになります。				
授業概要	Students use the textbook "Four Corners" to learn a new grammar concept every week, as well as vocabulary associated with a specific conversational topic. 学生は教科書「Four Corners」を使用して、毎週新しい文法の概念と、特定の会話トピックに関連する語彙を学びます。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	Unit 1 Lessons A + B	19	Unit 7 Lessons A + B
2	Unit 1 Lessons C + D	20	Unit 7 Lessons C + D
3	Mini Quiz	21	Mini Quiz
4	Unit 2 Lessons A + B	22	Unit 8 Lessons A + B
5	Unit 2 Lessons C + D	23	Unit 8 Lessons C + D
6	Mini Quiz	24	Unit Conversation Exam
7	Unit 3 Lessons A + B	25	Unit Conversation Exam
8	Unit 3 Lessons C + D	26	Unit 9 Lessosn A + B
9	Mini Quiz	27	Unit 9 Lessons C + D
10	Unit 4 Lessons A + B	28	Mini Quiz
11	Unit 4 Lessons C + D	29	Unit 10 Lessons A + B
12	Unit Conversation Test	30	Unit 10 Lessons C + D
13	Unit Conversation Test	31	Mini Quiz
14	Unit 5 Lessons A + B	32	Unit 11 Lessons A + B
15	Unit 5 Lessons C + D	33	Unit 11 Lessons C + D
16	Mini Quiz	34	Unit 12 Lessons A + B
17	Unit 6 Lessons A + B	35	Unit 12 Lessons C + D
18	Unit 6 Lessons C + D	36	Final Exams

成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されま
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	0%	成績評価	S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第 = 59%-下
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫0%　R≪実働実践型学習≫35%　A≪主体的参加型学習≫35%　G≪海外体感型学習≫30%
講師プロフィール	私はベイツ大学を卒業し、日本文化の学士号を取得しました。私はテクノスカレッジでティーチングアシスタントとして1年間過ごし、教師に昇進しました。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	コンピュータⅠ		担 当 者 名	大貫 芳枝	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	コンピュータを使いこなすスキルの取得を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	マウスやキーボードを使う入力の基本的なスキルから、メールの作成/送信、Word/Excel/PowerPointといったOfficeアプリケーションの操作が必要最低限こなせる。				
授業概要	・自らのノートパソコンの使い方を習得する ・タイピング力を養う ・Word、Excel、PowerPointといったOfficeアプリケーションの基本的な操作をデータ作成等行いながら習得				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	PowerPointで作成、進捗の報告
	2	オリエンテーション	20	PowerPointで作成、進捗の報告
	3	オリエンテーション	21	発表
	4	Teamsの操作、PCの設定とOfficeアプリの動作確認、タイピングチェック	22	PowerPointまとめ
	5	メール設定、メールの送受信、ビジネスメールのルールについて	23	ファイル管理、セキュリティ
	6	Word:ページ書式、書式の基本操作	24	確認問題:ファイル管理、タイピング
	7	Word:ビジネス文書のルール、レポート作成	25	Excel基礎
	8	Word:ビジネス文書作成	26	Excel基礎
	9	Word:ビジネス文書作成	27	Excel基礎
	10	Word:ビジュアル的な文書作成(チラシなど)	28	Excel基礎(進捗表など)
	11	Word:長文の文書作成	29	Excel基礎(会計、シフト表など)
	12	Word:縦書きなど目的のある文書作成	30	確認問題:Excel基礎
	13	確認問題:ビジネス文書のルール、ビジネス文書作成	31	確認問題:Excel基礎
	14	確認問題:文書作成	32	後期期末試験
	15	前期期末試験	33	試験の振り返り
	16	試験の振り返り	34	まとめ
	17	PowerPoint基礎	35	まとめ
	18	PowerPoint基礎	36	まとめ

成績割合			学習FB方法	
	テスト	80%		前期・後期成績表送付
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	10%	成績評価	S90点以上 A80～89点 B70～79点 C60～69点 それ未満は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫100%　A≪主体的参加型学習≫100%　G≪海外体感型学習≫20%
講師プロフィール	IT系インストラクターとしての経験と、NPO法人理事として企画経営に参画し、管理業務でのAccess・Excel作成処理や対外的なビジネス文書作成などの実務、さらに新入社員研修等での講師経験も合わせ、「今望まれるITスキルの習得」ができる授業を心がけている。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	演出概論		担 当 者 名	丸山 和男、岫 誠彦	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	イベント業界で働く上での業務の理解、スケジュール・予算管理などの重要性を学び社会人としての成長を目的とする				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イベントで使用する各種資料、アイテムなどの理解を深め、実習、実技などで具体的に授業目標を定める				
授業概要	現場で必要なスキルを舞台監督・制作・運営・大道具・楽器・特殊効果と分けて深く座学や実技において説明を行っていく				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション①	19	「譜割り」作成
	2	オリエンテーション②	20	「ローディー（楽器）」の業務内容説明
	3	オリエンテーション③	21	実際の楽器を使ってのローディー実践
	4	イベントにおけるスタッフの存在意義	22	シーケンスを使った同期演奏のメカニズム
	5	イベントに関わるセクションの役割	23	学祭に向けての役割、セクションの意思確認
	6	制作業務の講義・シュミレーション	24	学祭の反省会
	7	シュミレーションを取り上げての予算案説明	25	ステージにおける「特殊効果」について
	8	まとめ①	26	「特殊効果」実践
	9	舞台監督の業務及び他スタッフとの関係性	27	クリスマスイベント企画会議、叩き台本作成
	10	舞台用語、舞台機構などの基礎知識の講義	28	クリスマスイベント最終台本打ち合わせ
	11	舞台美術の説明、デザイナーの存在意義	29	クリスマスイベント反省会
	12	「バミリ」の必要性や方法の説明	30	「譜割り」の復習とキッカケ
	13	グループに分かれて「バミリ」の実践	31	コンサート映像を見て演出の抜き出し
	14	まとめ②	32	2年生の卒業制作のための技術演習
	15	「夏のイベント」へ向けての基礎舞台作成	33	1年間を通してのまとめ及びプロ意識の講義
	16	「夏のイベント」へ向けての基礎舞台作成	34	まとめ①
	17	現場に参加しての感想、意見交換	35	まとめ②
	18	「譜割り」の説明及び、必要性	36	まとめ③

成績割合			学習FB方法	前期・後期　成績表送付
	テスト	40%		
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点　A80～89　B70～79点　C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30%　R≪実働実践型学習≫30%　A≪主体的参加型学習≫30%　G≪海外体感型学習≫10%
講師プロフィール	長年舞台監督として従事し、ホール・アリーナツアーや各種イベントなど様々な現場で活躍している

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	PA・照明実習A		担 当 者 名	浜田 勇太、芝川 裕哉、後藤 美羽	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	必修	授 業 時 間 数	216時間
授業目的	PAの基礎を学び、機器の取り扱い、舞台での立ち振る舞い、音響的感覚を養う 照明の基礎的な機器の取り扱い、色彩感覚を養う ホールでの実習を通じて、現場で通用する技術の基礎を習得する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	企画、制作、出演等全てを自分達の手で本番を行い、公演を成功させる 様々なイベントに対応できる知識と技術を習得し、自分たちの手で本番を行い公演を成功させる				
授業概要	実際の現場を想定し、実践的な技術習得を実習形式で行う				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	オリエンテーション①	19	基礎舞台についてスモーク／SSについて 仕込み
2	オリエンテーション②	20	PA実践③_A(3WaySystem)卓の説明・操作／フロント／シーリングについて・仕
3	オリエンテーション③	21	PA実践③_B(3WaySystem)仮設電源について・仕込み
4	実習上の注意、前期・後期発表日取り	22	PA実践③_C(3WaySystem)イントレ仕込み
5	PA基礎①_A(BoseSystem)灯体の吊り方、回路、色、SUS・バトンについて	23	PA実践④_A(MonitorMix)星球／ストロボについて 仕込み
6	PA基礎①_B(BoseSystem)灯体の種類(PARライト) 仕込み	24	PA実践④_B(MonitorMix)PINについて 仕込み
7	PA基礎②_A(BoseSystem実践)灯体の種類(凸・フレネル) 仕込み	25	PA実践④_C(MonitorMix)Footについて 仕込み
8	PA基礎②_B(BoseSystem実践)灯体の種類(ITO) 仕込み	26	PA実践⑤_A(Band Mix)フル仕込み 明かり作り(バラード)
9	PA実践①_A(2WaySystem)灯体の種類(ソースフォー) 仕込み	27	PA実践⑤_B(Band Mix)フル仕込み 明かり作り(アップテンポ)
10	PA実践①_B(2WaySystem)灯体の種類(ミニブル) 仕込み	28	PA実践⑤_C(Band Mix)フル仕込み 明かり作り(芝居)
11	PA実践①_C(2WaySystem)灯体の種類(LH・UHL) 仕込み	29	後期発表_RH_1
12	PA実践②_A(Band Mix)灯体の種類(ミラーボール) 仕込み	30	後期発表_RH_2
13	PA実践②_B(Band Mix)セクション毎に仕込み①(RH／本番の流れについて)	31	後期発表_GP
14	PA実践②_C(Band Mix)セクション毎に仕込む②(RH／本番の流れについて)	32	後期発表
15	前期発表_RH_1	33	後期反省会
16	前期発表_RH_2	34	まとめ①
17	前期発表	35	まとめ②
18	前期の反省、後期発表に向けて	36	まとめ③

成績割合	テスト	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率 40%		
	レポート 60%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計 100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫0%		
講師プロフィール	本校卒業生 2002年有限会社湘南音響入社、以後コンサート、イベントでのPA業務に従事 照明オペレーター、プランナー、プロジェクションムービングオペレーターとして、数多くのライブ／コンサートを経験、国内、海外共にイベントの照明技術者として幅広く展開。現在は専門学校教員として従事している		

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	基礎ゼミ		担 当 者 名	山本 あいり、井野 加織	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	イベント企画を中心にコミュニケーションやスケジュール管理などを体感し、授業の中でPDCAを学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イベント業界で通用する為のプレゼンテーション資料、打ち合わせ書類の作成をする中でグループワークの難しさを学び人間力を発達させる				
授業概要	イベント毎にPDCAサイクルを実施し、個人ならびに集団でのデータ分析を座学形式で行う				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	自己紹介・挨拶・ゼミとは？	19	後期ゼミ テーマ・目標・目的設定
	2	ブレストについて(手法の紹介・実践)	20	企画立案のためのフィールドワーク①
	3	ブレストについて(テーマをもとに)	21	企画立案のためのフィールドワーク②
	4	企画の作り方(ケーススタディ)	22	企画会議①
	5	企画会議①	23	企画会議②
	6	企画会議②	24	企画提案①・ブラッシュアップ
	7	企画書の作り方 基本編	25	企画提案②
	8	企画書の作り方 応用編	26	企業に提案するには？
	9	企画書 提出	27	イベント告知方法について
	10	企画発表 講評	28	イベント集客方法について
	11	チームごとに企画再案①	29	イベント最終準備
	12	チームごとに企画再案②	30	イベントリハーサル
	13	プレゼンテーション方法①	31	イベント本番
	14	プレゼンテーション方法②	32	イベント振り返り
	15	企画を提案するには？	33	最終報告会準備
	16	中間発表に向けて	34	最終報告会
	17	中間発表	35	最終報告会振り返り
	18	前期講評	36	1年間の総評

成績割合			学習FB方法	成績表送付
	テスト			
	学習態度・出席率	70%		
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%
講師プロフィール	イベント制作会社を経て現在フリーランスでアーティストのライブツアーからIT企業のセミナー、展示会の運営等幅広いジャンルのイベント企画・制作を行う。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	イベントプロデュース		担 当 者 名	宮本 哲也	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	エンタテインメント業界における業種の理解を進め、現場の業務に支障なく遂行できることが科目としての目的である。イベントを企画して実施するまでどのような手配で進めていくのか、それに付随した安全第一からの視点、利益を生み出すビジネスとしての視点、権利の重要や送り手としての視座を獲得していく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	業種の理解、業種間での業務、各種メディアの機能、イベント制作の流れを理解をした上で、現場に出て困らない情報を身に付ける。				
授業概要	エンターテインメントは何なのかを理解し、幅広い知識を持ち人生の目標を明確にしていく				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	アイデアをお金に！ 簡単ビジネスメモ作り① 優れたアイデアに学ぶ
	2	イベント制作におけるお金、人員の仕組み	20	アイデアをお金に！ 簡単ビジネスメモ作り② 優れたアイデアに学ぶ
	3	エンターテインメント制作に必要な自己分析の理解①	21	アイデアをお金に！ 簡単ビジネスメモ作り③ 優れたアイデアに学ぶ
	4	エンターテインメント制作に必要な自己分析の理解②	22	A4サイズ1枚企画書の書き方①
	5	過去の経験によるエンターテイメントの洗い出し①	23	A4サイズ1枚企画書の書き方②
	6	過去の経験によるエンターテイメントの洗い出し②	24	企画プレゼンテーション方法① ディスカッション
	7	現状の関心ごとの深掘り研究分析①	25	企画プレゼンテーション方法② ディスカッション
	8	現状の関心ごとの深掘り研究分析②	26	企画プレゼンテーション方法③ ディスカッション
	9	現状の関心ごとの深掘り研究分析③	27	グループ企画発表
	10	エンターテイメントにおける自己の強みとスキルの確認①	28	イベント業界の最新トレンド分析①
	11	エンターテイメントにおける自己の強みとスキルの確認②	29	イベント業界の最新トレンド分析②
	12	エンターテイメントにおける自己の強みとスキルの確認③	30	新しい価値を生む思考術①～青果店で肉を売れ～
	13	イベントにおける自己の価値観の明確化①	31	新しい価値を生む思考術②～青果店で肉を売れ～
	14	イベントにおける自己の価値観の明確化②	32	新しい価値を生む思考術③～青果店で肉を売れ～
	15	自己分析から生まれるイベント企画立案① テーマ	33	簡単！目標達成のためのチャート表作り①
	16	自己分析から生まれるイベント企画立案② ターゲット	34	簡単！目標達成のためのチャート表作り②
	17	自己分析から生まれるイベント企画立案③ コンセプト	35	簡単！目標達成のためのチャート表作り③
	18	まとめグループ発表	36	最終レポート

成績割合			学習FB方法	
	テスト			
	学習態度・出席率	60%		
	レポート	40%	成績評価	
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫ R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	テレビ番組制作者として30年以上の経験。テレビ番組の制作や地方産業の応援プロジェクトやYouTube「中小企業の星チャンネル」制作運営、メイクアップアーティストのショート動画コンテンツ制作などで幅広いスキルを磨き、テレビ番組制作で培った企画の発想で企業を繋げるプロジェクトを考え販売に貢献。創造的な発想とコーディネーション能力を活かし、期待を上回る価値あるコンテンツを創るのが得意です。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	応用ゼミ		担 当 者 名	山本 あいり、加藤 昌史	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	学びを実社会で体現し、社会実装する上での計画やヒアリング、コストやスケジュールなどの困難にも挑戦して、社会実装の手順と課題解決方法、業界の実運用を知る				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	地域の課題を見つけていくスキルを身に着ける イベントの持ちうるあらゆる可能性を探り、イベントの力で課題解決を目指す				
授業概要	地域の課題を見つけていくスキルを身に着ける イベントの持ちうるあらゆる可能性を探り、イベントの力で課題解決を学ぶ				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	フィールド調査
	2	学生自己紹介	20	フィールド調査
	3	フィールド(調布)課題調査	21	企画書づくり
	4	課題整理	22	企画書づくり
	5	既存活動(ゴミ拾い・図書館)の課題点の洗い出し	23	企画書づくり
	6	既存活動(ゴミ拾い・図書館)改善点出し	24	プレゼンテーション練習
	7	実施向けた準備	25	プレゼンテーション練習
	8	実施後の振り返り・次回に向けた改善点洗い出し	26	提案・プレゼンテーション
	9	事例調査研究	27	イベント実施準備
	10	次回に向けた企画出し	28	イベント実施準備
	11	次回に向けた企画出し	29	イベント実施準備
	12	実施向けた準備	30	イベント実施準備
	13	実施向けた準備	31	振り返り
	14	実施後の振り返り・次回に向けた改善点洗い出し	32	テスト・年間の振り返り
	15	実施後の振り返り・次回に向けた改善点洗い出し	33	
	16	テスト・前期の振り返り	34	
	17	独自イベント開催に向けた企画立案	35	
	18	独自イベント開催に向けた企画立案	36	

成績割合			学習FB方法	
	テスト			
	学習態度・出席率			
	レポート		成績評価	
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	音響技術Ⅱ		担 当 者 名	山本 あいり	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	1年時に習得した基礎を元に、実習と照らし合わせて応用力を身に着ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	卒業制作実習や学内外のイベントと連動したハード・ソフトウエアの知識や応用を習得する。				
授業概要	ⓐ マイクロフォンからスピーカーまでの各機器の構造を理解する。 ⓑ スピーカーから放出される音の理論上の音圧を理解し、計算により導きだせる。 ⓒ ⓐとⓑの組み合わせにより、必要とする理論上のシステム構築が出来る。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	OutSystem 1［実践編］（NEXO AlphaSystemの取扱方法／位相）	19	システム構築 1（レベルバランス・インピーダンスマッチング・減衰）
	2	OutSystem 2［理論編］（ポイントソース／ラインアレイソソース）	20	システム構築 2（距離減衰・音圧合成）
	3	デジタルミキサー 1［実践編］（実機取扱方法）	21	音響プランニング 2［実践編］（TECHNOS祭対応 1）
	4	デジタルミキサー 2［アプリ編］（オフラインエディタの使用方法）	22	音響プランニング 3［実践編］（TECHNOS祭対応 2）
	5	資料作成 1（組織図／作業SC／回線表／卓プラン）	23	録音／再生技術（DAW／SF・bit-デプスとデータ容量）
	6	マイキング理論／ミキサー出力（種類・距離・角度／用途別種類）	24	音響プランニング 4［実践編］（軽音連イベント対応）
	7	システムチューニング（理論／定在波／チューニング部材）	25	放送・配信音声（同期信号／LUFS）
	8	資料作成 2（出庫表／積込図／発注書／賃借表）	26	リギングの基礎 1（リギングパーツ／安全管理）
	9	音声分岐／野外現場／舞台転換（スプリッタ／風雨熱対策／転換表）	27	リギングの基礎 2（シミュレーターアプリの使用例）
	10	ワイヤレスシステム 1［実践編］（ワイヤレスマイクとIEM）	28	学生発表 1
	11	ワイヤレスシステム 2［理論／アプリ編］（高調波／chプラン／WWB）	29	学生発表 2
	12	音響電源とノイズ（電位差／アース／コモン・ノーマルモード／振分表）	30	学生発表 3
	13	音響プランニング 1［実践編］（夏イベント対応）	31	リクエスト講義（予備：音響機材の歴史変貌とトレンド機材）
	14	デジタルオーディオネットワーク（トポロジ／プロトコル／リダンダント）	32	音響プランニング 5［実践編］（卒業制作対応 1）
	15	資料作成 3（台本・進行表 追記／歌詞カード）	33	音響プランニング 6［実践編］（卒業制作対応 2）
	16	前期まとめ	34	後期まとめ
	17	前期末試験	35	後期末試験
	18	前期末試験 解答と解説	36	後期末試験 解答と解説

成績割合			学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	テスト	100%		
	学習態度・出席率			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	音響技術者として30年以上のキャリアを持ち、現在も音楽ツアーや各種イベントにてPAオペレーターとして活躍する。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	照明技術Ⅱ		担 当 者 名	斉藤 葵	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	現場で通用する職業人の育成				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各イベントに向けての多角的なアプローチ、実習では学び辛いような深いところを突き詰める。				
授業概要	現場を円滑に回すための知識を習得すること、現場に行くまでの下準備の大切さを教える。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	小テスト・オリエンテーション	19	テクノス祭に向けて
2	アドレス、HTP・LTP、パラメーター	20	テクノス祭反省
3	二進法、明かりの種類	21	映像からキューを起こす②
4	仮設現場、電源、ピンキュー	22	ホール打ち合わせのやり方
5	トラッキング、DMXの仕組み	23	色彩研究①
6	施工図面の書き方	24	色彩研究②
7	譜割り、データ表の書き方	25	色彩研究③
8	照明のプランについて	26	クリイベに向けて
9	ムービングの仕組み	27	卒業制作に向けて
10	映像からキューを起こす①	28	卒業制作に向けて
11	イベントに向けて	29	期末考査
12	イベントに向けて	30	テスト返却
13	イベント反省	31	リクエスト授業①
14	ネットワークについて	32	リクエスト授業②
15	前期まとめ	33	リクエスト授業③
16	テスト返却、解説	34	現場人座談会
17	ダンス	35	年間総まとめ
18	テクノス祭に向けて	36	4月からに向けて

成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期　成績表送付
	学習態度・出席率	20%		
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点　A80～89　B70～79点　C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30%　R≪実働実践型学習≫30%　A≪主体的参加型学習≫30%　G≪海外体感型学習≫10%			
講師プロフィール	照明技術者として多くの会社に従事。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	ビジネス文書		担 当 者 名	相川 奏恵	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	■就活力を身につける ■ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける ■幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立てる				
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。 社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への 対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー	19	電話応対③
2	文章上達1	20	バリアフリー①
3	自己分析・逆転の発想	21	バリアフリー②
4	GD攻略法・働く目的・世界の就活	22	来客応対・名刺交換
5	実習のマナー	23	訪問・席次・紹介
6	働くということ	24	クレーム対応①
7	ストローク	25	クレーム対応②
8	8つの意識	26	指示命令の受け方と報連相
9	顧客心理	27	上手な仕事の進め方①
10	敬語①	28	上手な仕事の進め方②
11	敬語②	29	上手な仕事の進め方③
12	敬語③	30	段取り力・8つの意識
13	敬語テスト・世界の学校	31	文章上達②
14	ビジネス文書①	32	創造力を高める①
15	ビジネス文書②	33	想像力を高める②
16	会社の使命・社員の役割	34	想像力を高める③
17	電話応対①	35	愛される社員になるために・上手な指導の受け方
18	電話応対②	36	振り返り・まとめ

成績割合	テスト	60%	学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス　　定期テスト解説
	学習態度・出席率	10%・20%		
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上　S90～100点　A80～89点　B70～79点 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫50%　R≪実働実践型学習≫20%　A≪主体的参加型学習≫20%　G≪海外体感型学習≫10%			
講師プロフィール	エアーニッポン㈱にてCA業務及び教育訓練教官業務（新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成）を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、各市役所、埼玉県産業振興公社・東京都済生会中央病院・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA・FC東京他			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	VW建築講義		担 当 者 名	上條 淳子	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	Vectorworksを使った2DCAD操作を習得する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Vectorworksでのコマンド操作や各種設定方法を学び、CADでの作図やデータのやり取りが出来るようになることを目標とする				
授業概要	図面のトレースや新規作図、実測情報による作図をVectorworksを使って進める演習形式で行う				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	VectorWorksについての概論	19	レイアウト演習①
	2	積み込み図面作成①	20	レイアウト演習②
	3	積み込み図面作成②	21	レイアウト演習③
	4	積み込み図面作成③	22	実測と作図①
	5	シンボル作成①	23	実測と作図②
	6	シンボル作成②	24	実測と作図③
	7	シンボル作成③	25	実測と作図④
	8	シンボル作成④	26	実測と作図⑤
	9	図面トレース①	27	3D作図
	10	図面トレース②	28	図面トレース⑩
	11	図面トレース③	29	図面トレース⑪
	12	図面トレース④	30	図面トレース⑫
	13	図面トレース⑤	31	図面トレース⑬
	14	図面トレース⑥	32	図面トレース⑭
	15	図面トレース⑦	33	図面トレース⑮
	16	図面トレース⑧	34	図面トレース⑯
	17	図面トレース⑨	35	図面トレース⑰
	18	演習復習①	36	演習復習②

成績割合			学習FB方法	成績送付
	テスト	0%		
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	70%	成績評価	″出席率80%以上、 S 90～100点、A 80～89点、 B 79～70点、C 60～69点、 D 59点以下(不可)″
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30%　R≪実働実践型学習≫70%　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	建築の意匠設計を専門としています。住宅、集合住宅、保育園、グループホーム、飲食店などの新築やリフォームの設計をしています。実務ではVectorworksをメインのCADソフトとして使っています。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	イベントマネジメントA		担 当 者 名	宮本 哲也	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	新しいエンターテインメントイベントの可能性を模索する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	世の中の困り事から逆算して立案できるエンターテインメントを提案できるようになる				
授業概要	地域、企業と連携したイベント作りを通じて社会的緊張感や責任感をもちイベントによる成果を明確に目標だてし、実行する				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	企画発表会　ディスカッション
	2	エンターテインメント制作に必要な自己分析の理解①	20	地域創生に役立つイベント立案①
	3	エンターテインメント制作に必要な自己分析の理解②	21	地域創生に役立つイベント立案②
	4	現状の関心ごとの深掘り研究分析①	22	地域創生に役立つイベント立案③
	5	現状の関心ごとの深掘り研究分析②	23	社会課題を解決するためのイベント考案①
	6	もしも私が○○(有名人、キャラクターなど)のイベントプロデューサーだったら？①	24	社会課題を解決するためのイベント考案②
	7	もしも私が○○(有名人、キャラクターなど)のイベントプロデューサーだったら？②	25	社会課題を解決するためのイベント考案③
	8	もしも私が○○(有名人、キャラクターなど)のイベントプロデューサーだったら？③	26	簡単！目標達成のためのチャート表作り①
	9	未来の○○(学校、街)を創造するイベント企画①	27	簡単！目標達成のためのチャート表作り②
	10	未来の○○(学校、街)を創造するイベント企画②	28	簡単！目標達成のためのチャート表作り③
	11	未来の○○(学校、街)を創造するイベント企画③	29	社長になってみよう！事業計画書の作り方①
	12	企画プレゼンテーション方法①　ディスカッション	30	社長になってみよう！事業計画書の作り方②
	13	企画プレゼンテーション方法②　ディスカッション	31	社長になってみよう！事業計画書の作り方③
	14	企画プレゼンテーション方法③　ディスカッション	32	社長になってみよう！事業計画書の作り方④
	15	架空イベントのマーケティング①	33	社長になってみよう！事業計画書の作り方⑤
	16	架空イベントのマーケティング②	34	社長になってみよう！事業計画書の作り方⑥
	17	架空イベントの予算見積りを作ってみよう①	35	まとめグループセッション
	18	架空イベントの予算見積りを作ってみよう②	36	最終レポート

成績割合			学習FB方法	
	学習態度・出席率	60%		
	レポート	40%	成績評価	
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	テレビ番組制作者として30年以上の経験。テレビ番組の制作や地方産業の応援プロジェクトやYouTube「中小企業の星チャンネル」制作運営、メイクアップアーティストのショート動画コンテンツ制作などで幅広いスキルを磨き、テレビ番組制作で培った企画の発想で企業を繋げるプロジェクトを考え販売に貢献。創造的な発想とコーディネーション能力を活かし、期待を上回る価値あるコンテンツを創るのが得意です。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	電気基礎ⅡB		担 当 者 名	笹 茂夫	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	電気回路を中心に電気の基礎を学ぶ。学習状況により電磁気や照明工学の内容にも触れてゆく。コンサートイベント科の実習に役立つ内容とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第2種電気工事士試験の「理論」科目の内容が理解できることを目標とする。				
授業概要	″電流の通り道である回路の基本的な取り扱い方を学ぶ。回路を流れる電流や電源電圧など初歩的なことから始め、直流回路をマスターした後、交流回路を扱えるようになることを目的とする。 講義を中心とした形式だが講義に合わせた演習を毎回行う。 ″				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	Ⅰ. 直流回路　概要説明	19	Ⅲ. 交流回路の取り扱い方　概要説明
2	1. オームの法則	20	1. 交流の複素数表示(交流をベクトルとして扱う)(1)
3	2. 抵抗の直列接続	21	2. 交流の複素数表示(交流をベクトルとして扱う)(2)
4	3. 抵抗の並列接続	22	3. 単相交流の電力(1)
5	4. 抵抗の直並列	23	4. 単相交流の電力(2)
6	5. キルヒホッフの法則	24	5. 直列共振　6. 並列共振
7	6. 電力	25	Ⅳ. 三相交流回路　概要説明
8	7. 電力量	26	1. Δ結線
9	8. ジュール熱	27	2. Y結線
10	Ⅱ. 交流回路の基礎　概要説明	28	3. 三相交流の電力1
11	1. 交流波形(1)	29	4. 三相交流の電力2
12	2. 交流波形(2)	30	光の色と波長
13	3. 抵抗の働き	31	放射束　光束　光度
14	4. コイルの働き	32	光束と照度
15	5. コンデンサの働き	33	照度の逆二乗の法則(1)
16	6. インピーダンス(RLC直列)	34	照度の逆二乗の法則(2)
17	7. インピーダンス(RLC並列)	35	光束発散度　輝度
18	8. アドミタンス	36	照度計算

成績割合	テスト	80%	学習FB方法	″前期、後期　成績表送付 講義に合わせた演習を毎回行ない質問を受け付ける。″
	学習態度・出席率	20%		
	レポート	0%	成績評価	″出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点 C60～69点、D59点以下不合格″
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20%　R≪実働実践型学習≫0%　A≪主体的参加型学習≫80%　G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	担当教員は専門学校において電気工学分野で十分な教育経験を有する。また現役の電気主任技術者でもあり電気設備現場の実践的な内容も講義に取り入れる。第2種電気主任技術者、第2種電気工事士の資格を取得している。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	プレゼンテーション		担 当 者 名	堀切 昌美	
学 科	コンサート・イベント科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	自分が言いたい意見をわかりやすく伝えることや、アイディアを提案する力など、社会において求められることは多い。授業において、他者に説得力をもって話す力、スキルや態度をプレゼンを通して培っていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	・話したいことについての話す順序・構成の仕方を学ぶ ・情報収集と、取捨選択をして、考える力を高める ・問題意識を持って調べたり、他者と議論することができる。 ・他者の意見を聞き、自分の考えを深め、説明することができる。				
授業概要	個人ワークを中心に、3分プレゼン・5分プレゼン・7分プレゼンに挑戦する。 発表後はコメントして適宜フィードバックを行う。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	授業の目的、進め方、スピーチとプレゼンの違い	19	データを活用したプレゼン　資料活用　スライド作成
	2	言いたいことを100字にまとめるワーク	20	スライド作成
	3	構成の仕方　訴求ポイント	21	何を言いたくて比較したのか、強調して話そう！
	4	おススメプレゼン　テーマ決め　概要と時間配分	22	何を言いたくて比較したのか、強調して話そう！
	5	おススメプレゼン　構成(テーマを選んだ理由・伝える内容の整理)	23	自由テーマ　1年生へのプレゼントとなるテーマ決め
	6	プレゼン用パワポ資料の作成	24	スライド作成
	7	資料作成　書体の基本、見やすいフォント　段組みなど	25	スライド作成
	8	シナリオ作成　話し方のポイント	26	スライド作成
	9	一人ずつ　3分プレゼン	27	最終リハーサル
	10	3分プレゼン　講評・自己評価	28	7分プレゼン発表
	11	わかりやすい説明とは　第2回テーマ決め	29	社会問題から、テーマの絞り込み　資料・文献から情報収集
	12	スライド作成	30	テーマに対する動向と課題の把握
	13	スライド作成	31	グループでの議論をもとに最終プレゼン
	14	スライド作成	32	グループでの議論をもとに最終プレゼン　スライド作成
	15	ひとり5分の発表	33	グループでの議論をもとに最終プレゼン　スライド作成
	16	ひとり5分　の発表	34	プレゼン発表
	17	ひとり5分　の発表　　次回のテーマ告知・テーマ決め	35	プレゼン発表
	18	データを活用したプレゼン　資料集め	36	まとめとふりかえり

成績割合				学習FB方法	
	テスト	プレゼン発表をテストとして評価する	60点		
	学習態度・出席率	主体的な取組	30点		
	レポート	設計シート、プレゼン発表振り返り	10点	成績評価	
	合計	100%			

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30%　R≪実働実践型学習≫30%　A≪主体的参加型学習≫40%　G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	私立高校国語教諭、養護学校、公立小学校、日本語教師を経て、民間企業に転身。営業部配属、月間売り上げトップ5を10カ月連続達成、マネージャに昇格。フランス・ルーブル美術館で行われたキモノショーの裏方経験をする。その後、企画部、人事部と渡り歩き新人研修・中途採用研修の仕事に携わる。現在は、大学・専門学校・通信制高校においても教鞭をとる。企業公務員講座講師、業務委託講師としても活躍中。当校には20年の勤務となり、学生一人ひとりの良さを引き出したい思いは毎年強まるばかりである。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅰ		担 当 者 名	葛原 加奈子、宮鍋 涼、沼田 かな子、井上 一輝、山本 友梨香、野上 伴睦	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	卒後VISIONに磨きをかけ、解像度を上げる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	授業開始時の卒後VISIONの評価と授業終了時の卒後VISIONの評価を比較し 評価がランクアップしていること。				
授業概要	未来デザインをケーススタディする。 好奇心から社会変化を探究し、自分未来を事例探究する。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション
	2	オリエンテーション	20	企業人講話
	3	卒後VISIONとは	21	企業人講話
	4	働くこととは	22	ガクチカ分析
	5	卒業生講話	23	ガクチカ分析
	6	卒業生講話	24	起業家講話
	7	卒後VISION書き直し	25	起業家講話
	8	グローバル(IW6/9-20)	26	卒後VISION書き直し
	9	グローバル(IW6/9-20)	27	特別講座準備
	10	働き方について(キャリアの選択肢)	28	特別講座準備
	11	就活キックオフ・(履歴書提出)	29	最終報告会
	12	卒後VISION(コンテスト7/25/26)	30	最終報告会
	13	企業人講話	31	1年振り返り
	14	企業人講話	32	1年振り返り
	15	卒後VISION書き直し	33	金曜日のみ)インターンシップについて
	16	中間報告会	34	金曜日のみ)インターンシップについて
	17	水曜日のみ)インターンシップについて	35	まとめ
	18	水曜日のみ)インターンシップについて	36	まとめ

成績割合	テスト	0%	学習FB方法	提出された卒後VISIONと各課題への評価
	学習態度・出席率	30%(授業態度と課題の提出)		
	レポート	70%(卒後VISIONの提出)	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%			
講師プロフィール	キャリアセンタースタッフが授業をコーディネートし、授業内容に合わせた外部講師を招聘する。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	日本語演習Ⅰ(N1)		担 当 者 名	楊 陽、岡崎 志織	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N1試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N1の合格を目指す。				
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N1レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法17
	2	オリエンテーション、日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18
	3	日本語の読解及び文法2	21	日本語の読解及び文法 19
	4	日本語の読解及び文法3	22	日本語の読解及び文法 20
	5	日本語の読解及び文法4	23	日本語の読解及び文法 21
	6	日本語の読解及び文法5	24	日本語の読解及び文法 22
	7	日本語の読解及び文法6	25	日本語の読解及び文法23
	8	日本語の読解及び文法7	26	日本語の読解及び文法24
	9	日本語の読解及び文法8	27	日本語の読解及び文法25
	10	日本語の読解及び文法9	28	日本語の読解及び文法26
	11	日本語の読解及び文法10	29	日本語の読解及び文法27
	12	日本語の読解及び文法11	30	日本語の読解及び文法28
	13	日本語の読解及び文法12	31	日本語の読解及び文法 29
	14	前期末試験	32	日本語の読解及び文法 30
	15	日本語の読解及び文法13	33	日本語の読解及び文法 31
	16	日本語の読解及び文法14	34	日本語の読解及び文法 32
	17	日本語の読解及び文法15	35	学年末試験
	18	日本語の読解及び文法16	36	試験返却、解説

成績割合			学習FB方法	定期的にまとめテストにてフィードバック
	テスト	60%		
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	小テスト10%	成績評価	出席率80%以上 S=100～90点、A=89～80点、B=79～70点、C=69～60点、D=59
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫0%　A≪主体的参加型学習≫0%　G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空　国際線に7年間勤務 在米6年　在独2年 日本語教師資格所有　米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得　日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	日本語演習Ⅰ(N2)		担 当 者 名	楊 陽、岡崎 志織	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N2 試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N2の合格を目指す。				
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N2レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法16
	2	オリエンテーション/日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法17
	3	日本語の読解及び文法 1	21	日本語の読解及び文法18
	4	日本語の読解及び文法 2	22	日本語の読解及び文法19
	5	日本語の読解及び文法 3	23	日本語の読解及び文法 20
	6	日本語の読解及び文法 4	24	日本語の読解及び文法 21
	7	日本語の読解及び文法 5	25	日本語の読解及び文法 22
	8	日本語の読解及び文法 6	26	日本語の読解及び文法 23
	9	日本語の読解及び文法 7	27	日本語の読解及び文法24
	10	日本語の読解及び文法 8	28	日本語の読解及び文法25
	11	日本語の読解及び文法 9	29	日本語の読解及び文法26
	12	日本語の読解及び文法 10	30	日本語の読解及び文法27
	13	日本語の読解及び文法 11	31	日本語の読解及び文法28
	14	前期末試験	32	日本語の読解及び文法29
	15	日本語の読解及び文法12	33	日本語の読解及び文法 30
	16	日本語の読解及び文法13	34	日本語の読解及び文法 31
	17	日本語の読解及び文法14	35	学年末試験
	18	日本語の読解及び文法15	36	試験返却、解説

成績割合	テスト	60%	学習FB方法	まとめテストの後にフィードバック
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	小テスト10%	成績評価	出席率80%以上 S=100～90点、A=89～80点、B=79～70点、C=69～60点、D=59
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫0%　A≪主体的参加型学習≫0%　G≪海外体感型学習≫0%			
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空　国際線に7年間勤務 在米6年　在独2年 日本語教師資格所有、 米カリフォルニア大学にて英語教員免許【TESL)取得、 日米の教員免許所有 長い海外経験から外国人留学生の立場に立った、わかりやすい日本語の授業を心がけています。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援 総合Ⅰ		担 当 者 名	楳村 麻里子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	産業能率大学の履修科目を併修するためのサポート講義				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産業能率大学の1年次履修科目について理解を深める				
授業概要	産業能率大学で1年次に履修する科目の重要ポイントを学習し、リポート・科目習得試験に向けての準備を行う				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	ガイダンス	19	企画力を強化する
	2	ガイダンス	20	考える力をつける
	3	社会人の常識とマナー	21	考える力をつける
	4	社会人の常識とマナー	22	考える力をつける
	5	社会人の常識とマナー	23	考える力をつける
	6	ビジネス文書&メールの書き方	24	考える力をつける
	7	ビジネス文書&メールの書き方	25	コミュニケーション論
	8	ビジネス文書&メールの書き方	26	コミュニケーション論
	9	ビジネス文書&メールの書き方	27	コミュニケーション論
	10	情報分析力を鍛える	28	コミュニケーション論
	11	情報分析力を鍛える	29	コミュニケーション論
	12	情報分析力を鍛える	30	自由が丘とブランディング
	13	情報分析力を鍛える	31	自由が丘とブランディング
	14	情報分析力を鍛える	32	自由が丘とブランディング
	15	企画力を強化する	33	自由が丘とブランディング
	16	企画力を強化する	34	
	17	企画力を強化する	35	
	18	企画力を強化する	36	

成績割合				
	テスト	30%	学習FB方法	前期末試験および後期末試験の評価結果をそれぞれ学生にFBする
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	20%	成績評価	前期末試験、後期末試験の評価点の平均値を年度末の評価点とする。テクノスで定めた相対評価により評価点の補正を行う。
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30%　R≪実働実践型学習≫20%　A≪主体的参加型学習≫30%　G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	コンピュータ会社勤務を経て、大学・短大・専門学校で非常勤講師を務めている。 現在まで10年間産業能率大学の通学、通信講座で非常勤講師を兼任している。 産業能率大学では、マーケティング、マネジメント領域の科目を7科目担当し、スクーリング、対面、リポート添削を行っている。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援 総合Ⅰ		担 当 者 名	吉田 緑	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	本科目は中央大学法学部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法(債権総論、債権各論)、刑法(総論)である。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすること を目標とする。				
授業概要	①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験、受講者の希望に合わせて授業内容が変わる場合もある。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	民法:債権(総論・各論)基礎編
	2	オリエンテーション	20	民法(債権総論):第1課題
	3	オリエンテーション	21	民法(債権総論):第2課題
	4	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	22	民法(債権各論):第1課題
	5	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	23	民法(債権各論):第2課題
	6	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	24	憲法:基礎編
	7	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	25	憲法:基礎編
	8	レポートの書き方	26	憲法:第1課題
	9	レポートの書き方	27	憲法:第2課題
	10	刑法:基礎編	28	残りの課題
	11	刑法:基礎編	29	残りの課題
	12	刑法:基礎編	30	2年次に向けて―刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほか―
	13	刑法:基礎編	31	2年次に向けて―刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほか―
	14	刑法(総論):第1課題	32	2年次に向けて―刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほか―
	15	刑法(総論):第2課題	33	2年次に向けて―刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほか―
	16	民法:基礎編	34	まとめ
	17	民法:基礎編	35	まとめ
	18	民法:債権(総論・各論)基礎編	36	まとめ

成績割合				
	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	80%		
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫10%　A≪主体的参加型学習≫60%　G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	他大学他学部より中央大学法学部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師(憲法、刑事政策、犯罪学等)を務める。元インターネットニュースメディア記者でもある。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援 総合Ⅰ		担 当 者 名	高木 佳子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるリポート作成の技術の習得も目指していく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。				
授業概要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのリポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について 履修科目のリポート課題提出について	19	「国文学概論」 課題1 リポート作成に向けて
2	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について	20	「国文学概論」 課題1 リポート作成
3	授業オリエンテーション 国文学科目概要・講義概説	21	「国文学概論」 古代歌謡とは
4	「国文学基礎講義」リポート課題概説 リポート作成に向けて	22	「国文学概論」 歌謡と和歌
5	「国文学基礎講義」 万葉集	23	「国文学概論」 口誦歌謡と記載和歌
6	「国文学基礎講義」『万葉集』について	24	「国文学概論」 課題2 リポート作成に向けて
7	「国文学基礎講義」『万葉集』の四季の歌	25	「国文学概論」 課題2 リポート作成
8	「国文学基礎講義」『万葉集』日本的な自然観	26	「国文学講義」Ⅰ(上代)『万葉集』について
9	「国文学基礎講義」課題1 リポート作成に向けて	27	『万葉集』の宴席歌について
10	「国文学基礎講義」課題1 リポート作成	28	『万葉集』巻八(1581～1591)の宴席歌群について
11	「国文学基礎講義」 歌謡とは	29	『万葉集』巻八の宴席歌群(1581～1591)の内容および構成について
12	「国文学基礎講義」 記紀歌謡	30	『国文学講義』1(上代) リポート課題1の作成
13	国文学基礎講義」『古事記』における歌謡	31	『万葉集』 大伴坂上郎女の歌
14	国文学基礎講義」『日本書紀』における歌謡	32	『万葉集』 テキスト以外にみえる大伴坂上郎女の歌の内容、特徴
15	国文学基礎講義」 課題2 リポート作成に向けて	33	『国文学講義』1(上代) レポート課題2の作成
16	国文学基礎講義」 課題2 リポート作成	34	『国文学講義』1(上代) レポート課題の提出に向けて
17	「国文学概論」『古事記』における古記録 「序文」	35	授業まとめ／振り返り
18	「国文学概論」『古事記』 大和朝廷びおける政治的支配および時代的背景	36	授業まとめ／振り返り

成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 答案返却
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%			
講師プロフィール	元昭和女子大学准教授(日本古典文学 和歌文学)			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	一般常識Ⅰ		担 当 者 名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間

授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	数学　高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要を思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語　コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会　社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。
授業概要	数学　必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語　漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会　日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	数学1 「一般常識　数学」オリエンテーション	19	国語・社会1 「一般常識　国語・社会」オリエンテーション
2	数学2 数の計算	20	国語・社会2 漢字一字の読み
3	数学3 式の計算	21	国語・社会3 二字熟語の読み
4	数学4 因数分解	22	国語・社会4 慣用語の読み
5	数学5 平方根	23	国語・社会5 常用漢字外の読み
6	数学6 1次方程式	24	国語・社会6 漢字一字の書き取り
7	数学7 連立方程式	25	国語・社会7 二字熟語の書き取り
8	数学8 2次方程式	26	国語・社会8 同訓異字の書き取り
9	数学9 不等式	27	国語・社会9 同音異義語の書き取り
10	数学10 前期成績判定テスト1	28	国語・社会10 対義語・類義語の書き取り
11	数学11 数と量の文章問題1	29	国語・社会11 世界史
12	数学12 数と量の文章問題2	30	国語・社会12 日本史
13	数学13 割合の文章問題1	31	国語・社会13 思想・社会・文化
14	数学14 割合の文章問題2	32	国語・社会14 成績判定テスト
15	数学15 速さの文章問題	33	総復習①
16	数学16 前期成績判定テスト	34	総復習②
17	数学17 規則性などの文章問題	35	総復習③
18	数学18 まとめ	36	まとめ

成績割合			学習FB方法	前期・後期　成績表送付
	テスト	80%		
	学習態度・出席率	20%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫20%　A≪主体的参加型学習≫100%　G≪海外体感型学習≫30%
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドヴァイザリー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担 当 者 名	葛原 加奈子、宮鍋 涼、沼田 かな子、山本 友梨香、野上 伴睦、井上 一輝	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	卒後VISIONに磨きをかけ解像度を上げる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	授業開始時の卒後VISIONの評価と授業終了時の卒後VISIONの評価を比較し、評価がランクアップをしていること。				
授業概要	学修&就活成果を最大化。 卒後visionに基づく学修&就活PDCAを実践学習。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション
	2	自分らしさの軸を確認	20	改善計画の立案
	3	業界・仕事の変化を探究	21	課題の体系化・仮説と検証
	4	卒後VISIONを描き直す	22	学修機会の活用(テクノス祭)
	5	社会人基礎力特別講座	23	(テクノス祭)
	6	PDCAサイクルとは	24	計画の実行度を評価
	7	学修目標と就活目標の設定	25	目標に対する改善計画
	8	目標に対する計画立案	26	課題の体系化・仮説と検証
	9	学修機会の活用(IW)	27	就活(インターンシップ)
	10	計画の実行度を評価	28	就活(インターンシップ)
	11	目標に対する改善計画	29	12月キャリア支援プログラム
	12	就活(インターンシップ)	30	12月キャリア支援プログラム
	13	社会人基礎力特別講座	31	最終報告
	14	7月キャリア支援プログラム	32	最終報告
	15	前期の学修と就活の振り返り	33	最終報告
	16	中間報告会	34	卒後VISION提出
	17	中間報告会	35	2月キャリア支援プログラム
	18	中間報告会	36	2月キャリア支援プログラム

成績割合			学習FB方法	前期・後期　成績表送付 提出された卒後VISIONと各課題への評価。就活状況モニタリング。
	テスト	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点
	学習態度・出席率	30%(課題の提出と就活モニタリング)		
	レポート	70%(卒後VISIONの提出)		
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40%　R≪実働実践型学習≫20%　A≪主体的参加型学習≫30%　G≪海外体感型学習≫10%
講師プロフィール	キャリアセンタースタッフが授業をコーディネートし、授業内容に合わせた外部講師を招聘する。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	一般常識Ⅱ		担 当 者 名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必 ・ 選	選択	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	数学　高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要を思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語　コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会　社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。				
授業概要	数学　必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語　漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会　日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	数学1 「一般常識　数学」オリエンテーション	19	国語・社会1 「一般常識　国語・社会」オリエンテーション
2	数学2 数の計算	20	国語・社会2 漢字一字の読み
3	数学3 式の計算	21	国語・社会3 二字熟語の読み
4	数学4 因数分解	22	国語・社会4 慣用語の読み
5	数学5 平方根	23	国語・社会5 常用漢字外の読み
6	数学6 1次方程式	24	国語・社会6 漢字一字の書き取り
7	数学7 連立方程式	25	国語・社会7 二字熟語の書き取り
8	数学8 2次方程式	26	国語・社会8 同訓異字の書き取り
9	数学9 不等式	27	国語・社会9 同音異義語の書き取り
10	数学10 前期成績判定テスト1	28	国語・社会10 対義語・類義語の書き取り
11	数学11 数と量の文章問題1	29	国語・社会11 世界史
12	数学12 数と量の文章問題2	30	国語・社会12 日本史
13	数学13 割合の文章問題1	31	国語・社会13 思想・社会・文化
14	数学14 割合の文章問題2	32	国語・社会14 成績判定テスト
15	数学15 速さの文章問題1	33	総復習
16	数学16 前期成績判定テスト	34	まとめ
17	数学17 規則性などの文章問題	35	まとめ
18	数学18 まとめ	36	まとめ

成績割合	テスト	数学　80%国語・社会　80%	学習FB方法	前期・後期　成績表送付
	学習態度・出席率	数学　20%（確認テストと出席）国語・社会　20%（確認テストと出席）		
	レポート	なし	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫20%　A≪主体的参加型学習≫100%　G≪海外体感型学習≫30%
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドヴァイザリー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援　総合Ⅱ		担 当 者 名	若林 芳勝	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必 ・ 選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	産業能率大学通信教育課程の基礎・専門科目（全8科目）の単位修得に必要な学習支援を行う。 その際、経営的視点を養い、主に経営・マネジメントに関する基礎的な部分を理解することを重視する。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	産能大のリポート・科目修得試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、リポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 前期・後期の単位修得科目は、主に以下を予定しています。 〔前期〕4科目：「企業家に学ぶ経営」「ストリートファッション論」「地域コミュニティ活動と社会貢献」「スポーツに学ぶチームマネジメント」 〔後期〕4科目：「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「チームマネジメント論」「リーダーシップ論」				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	講義
	2	オリエンテーション	20	講義
	3	講義	21	講義
	4	講義	22	講義
	5	講義	23	講義
	6	講義	24	講義
	7	講義	25	講義
	8	講義	26	講義
	9	講義	27	講義
	10	講義	28	講義
	11	講義	29	講義
	12	講義	30	講義
	13	講義	31	講義
	14	講義	32	講義
	15	講義	33	講義
	16	講義	34	講義
	17	定期試験に向けて総まとめ	35	定期試験に向けて総まとめ
	18	定期試験に向けて総まとめ	36	定期試験に向けて総まとめ

成績割合			学習FB方法	授業中に随時フィードバックを行います。
	テスト	60%		
	学習態度・出席率	40%		
	レポート		成績評価	定期試験（小テスト・レポートを含む）、学習態度、出席率を勘案し、総合評価にて決定します。
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫
講師プロフィール	経営・マネジメントの知識は社会に出てから必ず必要になります。一緒に学習しましょう。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援 総合Ⅱ		担 当 者 名	宮坂 友造	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。				
授業概要	民法1，民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	オリエンテーション①	19	刑法各論第2課題の解説②
2	オリエンテーション②	20	民法1第3課題の解説①
3	オリエンテーション③	21	民法1第3課題の解説②
4	民法2第1課題の解説	22	民法1第1課題の解説①
5	民法2第2課題の解説	23	民法1第1課題の解説②
6	民法1第2課題の解説①	24	民法2第3課題の解説①
7	民法1第2課題の解説②	25	民法2第3課題の解説②
8	民法1第4課題の解説①	26	民法2第4課題の解説①
9	民法1第4課題の解説②	27	民法2第4課題の解説②
10	民法2第2課題の解説①	28	民法5第3課題の解説①
11	民法2第2課題の解説②	29	民法5第3課題の解説②
12	民法5第1課題の解説①	30	民法5第4課題の解説
13	民法5第1課題の解説②	31	刑法各論第3課題の解説①
14	民法5第2課題の解説①	32	刑法各論第3課題の解説②
15	民法5第2課題の解説②	33	刑法各論第4課題の解説
16	刑法各論第1課題の解説①	34	まとめ①
17	刑法各論第1課題の解説②	35	まとめ②
18	刑法各論第2課題の解説①	36	まとめ③

成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫30%　A≪主体的参加型学習≫30%　G≪海外体感型学習≫5%
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援　総合Ⅱ		担 当 者 名	月本 直子	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	「国文学史Ⅰ」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びそのその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史Ⅱ」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学史的意味付けを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本大学通信教育部における「国文学史Ⅰ」「国語学概論」「国文学史Ⅱ」の三科目に関するリポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。				
授業概要	いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のリポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	講義概要説明	19	国語学概論 「文章と文体」
	2	国文学史Ⅰ 「日記と随筆」	20	国語学概論「敬語」
	3	国文学史Ⅰ リポート作成	21	国語学概論「日本語教育」
	4	国文学史Ⅰ 和歌	22	国語学概論 「心理言語学」
	5	国文学史Ⅰ リポート作成	23	リポート作成
	6	国文学史Ⅰ 上代の文学概観	24	国文学史Ⅱ 「文明開化と『文学』の変容」
	7	国文学史Ⅰ 「上代の文学 神話・伝説・説話」	25	国文学史Ⅱ 「明治中期の小説」
	8	国文学史Ⅰ 中古の文学概観	26	国文学史Ⅱ 「自然主義文学」
	9	国文学史Ⅰ 「中古の文学 物語の発生と展開」	27	国文学史Ⅱ 「漱石と鷗外」
	10	国文学史Ⅰ 「中古の文学 説話集と歴史物語」	28	国文学史Ⅱ 「耽美派」
	11	国文学史Ⅰ 中世の文学概観	29	国文学史Ⅱ 「白樺派」
	12	国文学史Ⅰ 「中世の文学 和歌」	30	国文学史Ⅱ 「『新思潮』と大正期教養主義」
	13	国語学概論 概要説明	31	国文学史Ⅱ 「プロレタリア文学」
	14	国語学概論 「音声と音韻」	32	国文学史Ⅱ 「新感覚派」
	15	国語学概論 「音声と音韻」	33	国文学史Ⅱ 「戦後文学」
	16	リポート作成に向けて	34	まとめ
	17	国語学概論 「意味」	35	まとめ
	18	国語学概論 「意味」	36	まとめ

成績割合			学習FB方法	答案返却時に解説をする。
	テスト	70%		
	学習態度・出席率	30%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上　S 90～100　A 80～89　B 70～79　C 60～69 D 59点以下不合格
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70%　R≪実働実践型学習≫60%　A≪主体的参加型学習≫80%　G≪海外体感型学習≫20%
講師プロフィール	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	日本語演習Ⅱ(N1)		担 当 者 名	楊 陽、岡崎 志織	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N1試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N1の合格を目指す。				
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N1レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法17
	2	オリエンテーション 日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18
	3	日本語の読解及び文法 2	21	日本語の読解及び文法19
	4	日本語の読解及び文法 3	22	日本語の読解及び文法 20
	5	日本語の読解及び文法 4	23	日本語の読解及び文法 21
	6	日本語の読解及び文法 5	24	日本語の読解及び文法 22
	7	日本語の読解及び文法 6	25	日本語の読解及び文法 23
	8	日本語の読解及び文法 7	26	日本語の読解及び文法 24
	9	日本語の読解及び文法 8	27	日本語の読解及び文法 25
	10	日本語の読解及び文法 9	28	日本語の読解及び文法 26
	11	日本語の読解及び文法 10	29	日本語の読解及び文法 27
	12	日本語の読解及び文法 11	30	日本語の読解及び文法 28
	13	日本語の読解及び文法 12	31	日本語の読解及び文法 29
	14	日本語の読解及び文法 13	32	日本語の読解及び文法 30
	15	日本語の読解及び文法 14	33	日本語の読解及び文法 31
	16	前期末試験	34	日本語の読解及び文法 32
	17	日本語の読解及び文法 15	35	学年末試験
	18	日本語の読解及び文法16	36	試験返却、解説、総復習

成績割合			学習FB方法	定期的にまとめテストにてフィードバック
	テスト	60%		
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S=100～90点、A=89～80点、B=79～70点、C=69～60点、D=59
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫0%　A≪主体的参加型学習≫0%　G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空　国際線に7年間勤務 在米6年　在独2年 日本語教師資格所有　米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得　日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	日本語演習Ⅱ(N2)		担 当 者 名	楊 陽、岡崎 志織	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N2 試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N2の合格を目指す。				
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N2レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法 17
	2	オリエンテーション 日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18
	3	日本語の読解及び文法 2	21	日本語の読解及び文法19
	4	日本語の読解及び文法 3	22	日本語の読解及び文法 20
	5	日本語の読解及び文法 4	23	日本語の読解及び文法 21
	6	日本語の読解及び文法 5	24	日本語の読解及び文法 22
	7	日本語の読解及び文法 6	25	日本語の読解及び文法 23
	8	日本語の読解及び文法 7	26	日本語の読解及び文法 24
	9	日本語の読解及び文法 8	27	日本語の読解及び文法25
	10	日本語の読解及び文法 9	28	日本語の読解及び文法26
	11	日本語の読解及び文法 10	29	日本語の読解及び文法27
	12	日本語の読解及び文法 11	30	日本語の読解及び文法28
	13	日本語の読解及び文法 12	31	日本語の読解及び文法29
	14	日本語の読解及び文法 13	32	日本語の読解及び文法 30
	15	日本語の読解及び文法 14	33	日本語の読解及び文法 31
	16	前期末試験	34	日本語の読解及び文法 32
	17	日本語の読解及び文法 15	35	学年末試験
	18	日本語の読解及び文法 16	36	試験編キャky、解説、総復習

成績割合			学習FB方法	定期的にまとめテストにてフィードバック
	テスト	60%		
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S=100～90点、A=89～80点、B=79～70点、C=69～60点、D=59
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫0%　A≪主体的参加型学習≫0%　G≪海外体感型学習≫0%
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空　国際線に7年間勤務 在米6年　在独2年 日本語教師資格所有　米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得　日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。